

事業再評価の対象区間



事業の目的と必要性について

課題

・昭和40年代後半に発生した地盤沈下により、流域内の速やかな雨水排水が困難

・対象区間の護岸の老朽化が進行
・護岸の老朽化の進行に伴う2次災害の懸念

目的

・90mm/hr（計画規模：30年確率）の洪水に対する治水機能を確保

結論

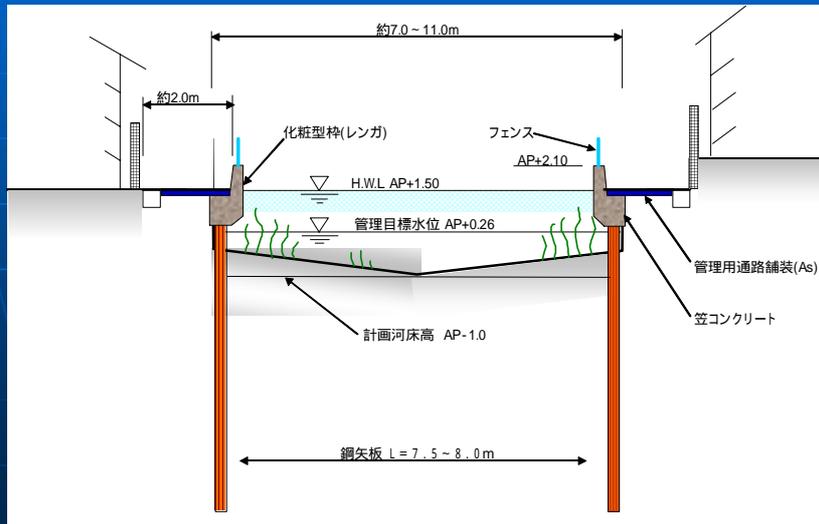
治水機能の向上と護岸の老朽化への対応のため早急な改修が必要

Bゾーン事業の内容

護岸の改修(根継ぎ)
河道の掘削



30年確率(90mm/hr)の洪水
に対応する貯留容量の向上



8

Bゾーン整備イメージ

護岸整備により、都市域における貴重なオープンスペース
として、市民が安らぎを感じられる空間となります。



現況

整備イメージ

9

事業再評価の視点

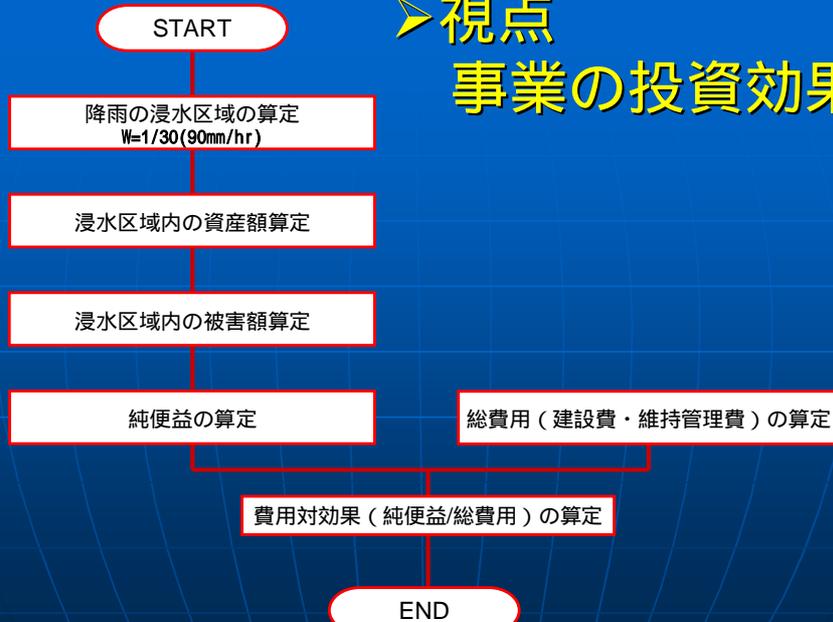
社会経済情勢等

流域内は地下鉄東西線浦安駅を中心に市街化が著しく、
人口・資産が集中。 **被災時の被害は甚大**
護岸の老朽化が進行。 **2次災害の懸念増大**



10

視点 事業の投資効果



事業の投資効果検討フロー

11